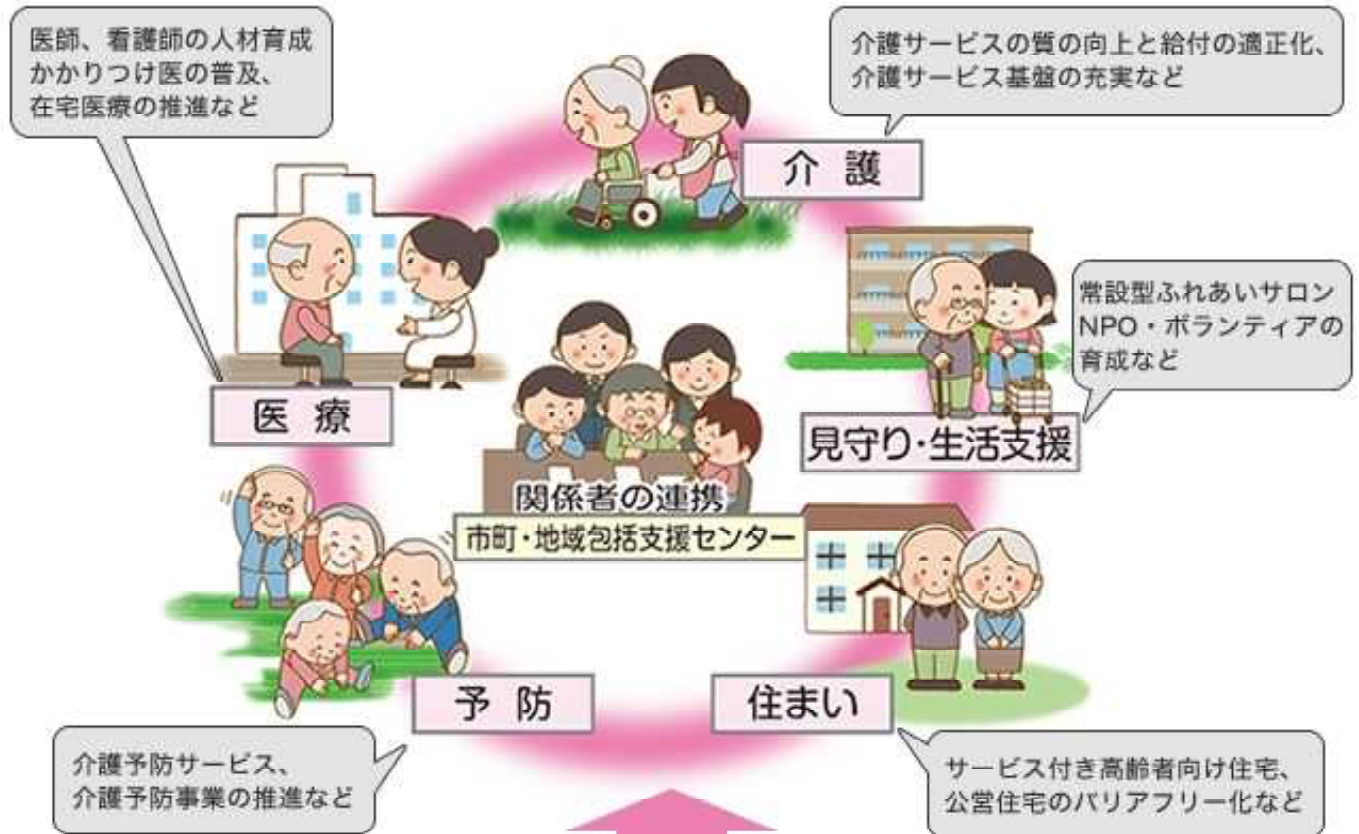


地域包括ケアシステムの構築

～地域での医療・介護・福祉・保健の連携体制づくり～



地域全体で支えます

医療や介護を必要とする高齢者が、住み慣れた自宅で、自分らしい暮らしを最後まで続けることができるようにする仕組みです。

わが国では高齢化が急速に進んでおり、10年後の2025年には、「団塊の世代」が75歳以上の後期高齢者になり、全世帯の4分の1以上を占めるようになります。認知症高齢者も700万人になると推計されています。

高齢者の医療は、これまでは亡くなるまで入院する「病院完結型」が中心でしたが、自宅にいて医療・介護施設など地域全体で支える仕組みに転換しようとするものです。

- 行政（駒ヶ根市） ----- 昨年度から、地域包括支援センターで、16行政区ごとに地区担当を設け、「地域の輪（和）をつくる会」を開催しています。
- 社会福祉協議会 ----- よりきめ細かな地域福祉を展開するため、小地域単位で、各地域の実情に応じた福祉活動を展開しています。
- 地域（東伊那） ----- 6月29日に地域ケア会議を開催しました。これから、自治組合単位で取り組んでいきます。

東伊那・塩田地区 民生児童委員 森田 勝 (090 - 3403 - 0289)

